



令和6年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年5月1日

上場会社名 株式会社東京一番フーズ 上場取引所 東
 コード番号 3067 URL <https://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 大地
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 岩成 和子 (TEL) 03-5363-2132
 四半期報告書提出予定日 令和6年5月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年9月期第2四半期の連結業績(令和5年10月1日~令和6年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年9月期第2四半期	4,308	6.7	360	44.5	375	41.5	319	51.7
5年9月期第2四半期	4,039	20.4	249	—	264	△23.5	210	△18.1

(注) 包括利益 6年9月期第2四半期 324百万円(63.2%) 5年9月期第2四半期 198百万円(△16.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年9月期第2四半期	35.54	35.50
5年9月期第2四半期	23.66	23.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年9月期第2四半期	4,693	1,913	39.6
5年9月期	4,582	1,584	33.4

(参考) 自己資本 6年9月期第2四半期 1,857百万円 5年9月期 1,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
6年9月期	—	0.00	—	—	—
6年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年9月期の連結業績予想(令和5年10月1日~令和6年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,701	6.1	232	67.0	220	22.0	165	51.8	18.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年9月期2Q	9,030,100株	5年9月期	9,030,100株
② 期末自己株式数	6年9月期2Q	45,999株	5年9月期	50,974株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年9月期2Q	8,979,207株	5年9月期2Q	8,891,193株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループは、飲食事業を起点とした6次産業化を推進することにより、卸売事業、加工事業、養殖事業を含めたSCM（サプライチェーンマネジメント）力のある垂直統合型の総合水産企業を目指しております。その目的は、グループ飲食店舗のお客様や外販先（飲食業者、小売業者、卸売業者等）の情報を集約することで、すべての事業においてお客様視点での生産・物流等の業務の改善、イノベーションの推進による新たな価値を創造することにあります。当社グループの飲食事業におきましては、水産物SCMによるトレーサが確認できる安心・安全な食材の調達と、職人の技を駆使した満足度の高い料理・サービスの提供をモットーとしております。また、ポテンシャルの高い海外市場に向けた水産物の販売を図るため米国ニューヨーク（以下：NY）に出店しているシーフードレストランにおいては、水産物6次産業化体制を基盤とするサステナビリティが評価され業績は順調に推移しております。

当第2四半期においては、国内の消費行動が本格化し、また海外からの旅行者の増加傾向もさらに顕在化してきております。この好機を生かすために、食材・サービスのクオリティ向上とその訴求力強化の徹底に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高43億8百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益3億60百万円（前年同期比44.5%増）、経常利益3億75百万円（前年同期比41.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億19百万円（前年同期比51.7%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における、各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(飲食事業)

「泳ぎとらふぐ料理専門店とらふぐ亭」においては、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期の113.7%となりました。今期スタートの10月から前年同期を大幅に上回ることが出来たこと、また、2月の恒例の「とらふぐ亭祭り」期間も前年同期を超えることが出来たことは、国内ならびに海外からの旅行客を店舗で獲得するための販促の体制が整備出来た結果によります。また、家庭での需要を創造するための「ふぐパ」（注）展開において、とらふぐ宅配のWEB戦略強化で全国的な需要を取り込めたこと、店舗デリバリー需要を継続的に獲得できたことも業績向上に貢献しております。

「寿し常」においては、選択と集中戦略の下、当第2四半期の店舗数は前年同期より3店舗減少し、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期の93.7%となりましたが、営業利益は大幅に増加いたしました。これは、仕入食材の再検討ならびに調達条件の見直しと価格改定が功を奏したことによります。

NYにおいては、「WOKUNI」の当第2四半期の売上高は前年同期を上回りました。2023年12月の売上は開店以来の最高額を達成することが出来ました。自社平戸養殖場から直送の本まぐろを使った「Tuna Auction」イベントや日本のサステナブル志向の養殖魚を中心とする「おすすめメニュー」が評価されております。今期はじめより開店準備を進めております「WOKUNI Broadway」店（米国2号店）は、2024年12月に開店を予定しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における飲食事業は、売上高38億3百万円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益3億32百万円（前年同期比66.7%増）となりました。

(注) ふぐパ：登録商標6670843 “おうちでふぐパーティー”を促進するキーワード

(外販事業)

養殖部門においては、平戸養殖場における「平戸本まぐろ極海一番」の養殖生産ならびに、2023年6月から開始した大分でのとらふぐの陸上養殖生産は順調に推移しております。当第2四半期は、両養殖場の更なる生産性向上のための投資と整備に努めてまいりました。

卸売部門においては、北米への輸出事業の本格開始に向けて、当社と同様のサステナビリティ志向の生産者との取り組みを開始しております。加工部門においては、国内のとらふぐ身欠き（除毒した製品）の需要の伸びを見据えて塩浜加工場の人員強化をいたしました。同時に、生産・加工・流通のSCM力強化のための情報システム（SCMシステム）の充実を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における外販事業は、売上高5億4百万円（前年同期比23.1%増）、セグメント利益27百万円（前年同期比37.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて26百万円増加し、23億71百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少37百万円及び売掛金の増加58百万円となります。

(固定資産)

固定資産は前連結会計年度末に比べて74百万円増加し、23億7百万円となりました。主な要因は、建設仮勘定の増加53百万円となります。

(繰延資産)

繰延資産は前連結会計年度末に比べて9百万円増加し、14百万円となりました。主な要因は、開業費の計上による増加9百万円となります。

(流動負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて23百万円減少し、12億24百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加59百万円及び流動負債のその他の減少83百万円となります。

(固定負債)

固定負債は前連結会計年度末に比べて1億94百万円減少し、15億55百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少1億86百万円となります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて3億28百万円増加し、19億13百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加3億19百万円となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、飲食店舗においては、魅力のあるメニュー提供とサービス・利便性を強化することで、店舗とともに自宅需要を獲得し、収益の拡大に努めてまいります。また、その基盤となる水産物調達においては、自社養殖のとらふぐや本まぐろを基軸とするSCMの推進による差別化に努め、また、そのスキームを海外における外販事業・卸売事業に展開してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,479,125	1,442,040
売掛金	300,707	359,553
仕掛品	272,424	325,446
原材料	89,054	89,773
その他	203,623	154,835
流動資産合計	2,344,935	2,371,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,734,106	1,749,741
減価償却累計額	△1,256,971	△1,291,269
建物及び構築物(純額)	477,134	458,472
機械装置及び運搬具	57,365	91,112
減価償却累計額	△46,481	△53,826
機械装置及び運搬具(純額)	10,883	37,286
工具、器具及び備品	449,750	448,243
減価償却累計額	△408,232	△413,054
工具、器具及び備品(純額)	41,517	35,189
土地	883,878	883,878
建設仮勘定	82,849	136,614
有形固定資産合計	1,496,263	1,551,441
無形固定資産		
ソフトウェア	39,769	34,435
ソフトウェア仮勘定	4,864	4,864
無形固定資産合計	44,634	39,299
投資その他の資産		
敷金及び保証金	556,234	516,055
破産更生債権等	21,478	19,682
繰延税金資産	38,908	53,764
その他	169,800	216,984
貸倒引当金	△94,263	△89,926
投資その他の資産合計	692,159	716,560
固定資産合計	2,233,057	2,307,301
繰延資産		
開業費	4,573	14,277
繰延資産合計	4,573	14,277
資産合計	4,582,566	4,693,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	218,253	212,199
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	380,481	375,781
未払金	285,194	268,263
未払法人税等	23,306	83,076
賞与引当金	10,000	31,736
資産除去債務	-	6,489
その他	230,584	146,831
流動負債合計	1,247,821	1,224,380
固定負債		
長期借入金	1,507,656	1,321,150
資産除去債務	220,936	214,700
その他	21,359	19,981
固定負債合計	1,749,952	1,555,832
負債合計	2,997,773	2,780,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,450	530,450
資本剰余金	438,187	438,968
利益剰余金	563,814	882,976
自己株式	△17,707	△15,986
株主資本合計	1,514,744	1,836,409
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,706	20,795
その他の包括利益累計額合計	15,706	20,795
新株予約権	54,342	55,811
純資産合計	1,584,792	1,913,016
負債純資産合計	4,582,566	4,693,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年3月31日)
売上高	4,039,712	4,308,361
売上原価	1,534,337	1,618,187
売上総利益	2,505,375	2,690,173
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	630,223	566,403
雑給	298,693	368,624
賞与引当金繰入額	22,274	31,736
広告宣伝費	1,108	-
販売促進費	53,811	61,504
地代家賃	414,224	400,843
減価償却費	28,594	36,723
その他	807,110	864,109
販売費及び一般管理費合計	2,256,041	2,329,946
営業利益	249,334	360,227
営業外収益		
受取利息	19	36
協賛金収入	6,629	1,841
為替差益	-	916
受取家賃	2,658	4,761
助成金収入	16,272	-
貸倒引当金戻入額	-	4,881
賞与引当金戻入額	-	2,760
受取保険金	16	522
その他	8,105	8,360
営業外収益合計	33,701	24,080
営業外費用		
支払利息	9,544	7,702
為替差損	4,848	-
貸倒引当金繰入額	3,150	-
その他	509	1,527
営業外費用合計	18,052	9,230
経常利益	264,983	375,077

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	69	-
新株予約権戻入益	-	693
特別利益合計	69	693
特別損失		
固定資産除却損	20	1,020
減損損失	-	652
訴訟関連損失	8,161	-
特別損失合計	8,181	1,673
税金等調整前四半期純利益	256,871	374,097
法人税、住民税及び事業税	58,380	69,790
法人税等調整額	△11,882	△14,855
法人税等合計	46,498	54,934
四半期純利益	210,373	319,162
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,373	319,162

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年3月31日)
四半期純利益	210,373	319,162
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△11,686	5,088
その他の包括利益合計	△11,686	5,088
四半期包括利益	198,686	324,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,686	324,251
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。